個別事業説明書【PR版】

観光スポーツ文化部

1　松山空港国際線活性化事業費

令和７年度６月補正予算（案）
予算額　130,930千円

松山-上海線の再開に合わせて、インバウンド・アウトバウンド双方で、各種利用促進やプロモーションを積極的に展開し、路線の安定運航を図るとともに、更なる増便につなげる。

お問い合わせ先
観光スポーツ文化部観光交流局
観光国際課航空政策室
(089-912-2313)

指標

施策	19　インバウンド誘客による国外からの活力の取り込み	現状値	①203千人②45千円（R5年）
	KGI　①外国人延べ宿泊客数　②外国人旅行消費単価	目標値	①360千人②47千円（R8年）
細施策	19-1　海外との往来を支える基盤整備	現状値	週20便（R7.5時点）
	KGI　国際線の便数（維持・拡大）	目標値	週27便（R8年度）

事業イメージ

KPI　松山空港に就航する国際線(定期便)の年間の利用者数（ソウル線、上海線、台北線、釜山線の目標便数及び搭乗率に達した際の年間利用者数を見込む）　現状値 32.2万人(R6年度)　目標値 41.0万人(R8年度)

松山－上海線　7月３日運航再開決定！

○松山－上海線　運航概要

(概要)
再開日： R7.7.3
便　数： 週２便（木・日）

(目標)
・搭乗率 80%
・イン：アウト ＝ ９：１

【課題】

再開後の安定運航に向けて、インバウンド・アウトバウンド双方で、**路線認知度向上**及び**利用促進**が必要。

【対策】

(インバウンド)
旅行会社への商品造成支援や**現地でのWEB広告**を行い、中国からの誘客促進を図る。

(アウトバウンド)
旅行会社への商品造成支援や**県内外でのWEB広告やテレビCMの放映**を行い、アウトバウンド利用者の増加を図る。

インバウンド・アウトバウンド双方での積極的な利用促進策を展開し、上海線の安定運航・更なる増便につなげる。

事業概要

＜上海線＞

○インバウンド　128,805千円（**県:92,664千円**、松山市:36,141千円）
(1)中国人旅行者の誘客促進
・旅行商品造成支援
・専用無料送迎バス運行
・県内観光施設無料券の配布
(2)現地オンライン旅行予約サイトを活用した直行便利用促進プロモーション

○アウトバウンド　15,921千円（**県:11,941千円**、松山市:3,980千円）
(1)利用者確保に向けた旅行会社への支援
(2)アクセス支援（松山空港駐車場料金の一部補助）
(3)県内外での利用促進プロモーション

○イン・アウト共通 35,100千円（**県:26,325千円**、松山市:8,775千円）
(1)安定運航確保のための航空会社支援
(2)航空会社と連携したプロモーション

2　自転車国際会議（Ｖｅｌｏ-ｃｉｔｙ）開催準備事業費

令和７年度６月補正予算（案）
予算額　32,233千円

本県が進めてきた自転車施策を国内外に発信し、国際的な認知度をより一層高めるため、令和9年度に本県で開催される自転車国際会議「Velo-city」の開催準備を進める。

お問い合わせ先
観光スポーツ文化部観光交流局
自転車新文化推進課
自転車国際会議推進室
(089-907-5223)

指標

施策	19　インバウンド誘客による国外からの活力の取り込み	現状値	①203千人　②45千円（R5年）
	KGI　①外国人延べ宿泊客数　②外国人旅行消費単価	目標値	①360千人　②47千円（R8年）
細施策	19-2　インバウンド誘客の促進	現状値	10万人（R5年度）
	KGI　外国人観光客数	目標値	16万人（R8年度）

KPI　自転車国際会議参加者数（R6ベルギー開催の参加者数と同規模を目指す）　現状値　－　目標値　1,500人（R9年度）

事業イメージ

R6年度	誘致活動 ・Velo-city2024への出展 ・主催者等関係者との意見交換、現地視察対応　等

2027年（R9）　愛媛県での開催決定

【Velo-city2027概要（案）】
○日程　令和９年５月25日（火）～28日（金）
○会場　県武道館（松山市）
○主な内容（今後主催者と協議の上決定）
・会議：全体会議やパネルディスカッション、ワークショップ
・社交イベント：日本文化等の紹介
・自転車パレード：松山市内にコースを設定し、参加者及び県民が走行
・視察ツアー：違法駐輪対策、自転車通学の状況、しまなみ海道などを視察
・展示会：自転車に関する各種展示

国際的な認知度の高まりによる「世界ブランド化」

・交流人口の増　・サイクリングインフラ等の投資促進
・自転車を活用した街づくりの促進　等

事業概要

1　開催計画の策定等　24,339千円

ECF（欧州サイクリスト連盟）との協議を踏まえ、会議開催に必要な計画の策定等を行う。
○開催計画策定（学術会議、展示会、自転車パレード等）
○視察ツアーにおけるガイド育成、研修資料の作成
○プロモーション費用（ホームページ作成、プロモーション映像作成等）

2　開催都市でのECFとの協議　5,100千円

会議開催に向け、ECFとのキックオフミーティングを行う。
○日程：令和８年３月頃
○場所：松山市
○協議内容：全体テーマ、プログラム、会議運営等

3　Velo-cityに向けた若者等による自転車活用推進事業　2,794千円

県内高校生等を対象に、自転車を活用したまちづくりや、外国人による自転車利用等について、研究する機会を設け、機運醸成を図る。
○ワークショップ経費（松山市・今治市２エリア、各2回）
○フィールドワーク経費（各1回）

※Velo-city について

自転車政策決定者、研究者・有識者など（1,000人～1,500人規模）が集まり、自転車に関する学術会議として、観光、都市計画など様々な議題について議論するとともに、市内で自転車パレードなどを行い交流促進を図る。